

喜界町

図書館だより

3月号

【 第273号 】  
2019（平成31）年3月1日発行〒891-0201  
喜界町大字赤通字磯口家90番地  
TEL：0997-65-0962  
FAX：0997-65-2523  
e-mail:library@town.kuski.jpブックスタート  
図書館からのプレゼント  
(コットンバッグ・絵本)赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。  
★（受け取りは心算のみ、ブックスタートの発送が遅いので、お急ぎください）

## 親子読書のススメ

昭和35年、鹿児島県立図書館長を務めていた椋嶋十氏が、「教科書以外の本を子どもが20分くらい読むのを母が、かたわらにすわって、静かに聞く」という「母と子の20分間読書」を提唱しました。この運動は全国に波及し、その後「親子20分読書」運動へと発展していきました。椋氏によると「人間というものには不思議なもので、自分がしゃべったり読んだりしていることを、誰か人にきかれています」と意識すると、へたな読み手でありへたな話し手であると思われたいくないものである。子どもの場合はこの傾向がいっそう強く、親子読書を繰り返すことにより、情緒が安定するとともに読み方も格段に上達し、鑑賞の世界が豊かになるだろう」と述べています。

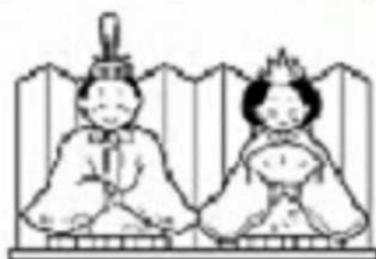


椋氏の提唱から60年近くが過ぎた今、県内各地でいろいろな親子読書の取組みが行われています。これから学年末の多忙な時期を迎えますが、忙しい中に時間を見つけて親子で「読み聞かせ」や「親子読書」に親しんでみてはいかがでしょうか。

## 『雛（ひな）祭り』 ～絵本もち 雛に来る子よ 雛祭～ 朝妻力

雛祭りは、女の子の成長としあわせを願い祝う行事で、「桃の節句」ともいわれ雛人形や桃の花を飾って祝います。むかしから「桃は邪気（病気などをおこすと考えられる悪い気）をはらう力がある」と考えられていました。

また、喜界町誌によると桃の節句の昔の風習として「床の間や先祖壇に百合の花を生け、田羊餅（ウナムッチー）やヨモギ餅（フナムッチー）を作って先祖壇に供え、家族で食べ、近親者へも贈答する。初めて節句を迎える家では、午後から近親者を招いてお祝いをする。それから、旧暦の3月3日には海へ行く習慣があって、家族総出で潮干狩りにいくものであった。潮干狩りの風習は大正初期になくなった。」と記されています。



## おしらせ

本は期間内に返却しましょう！

## 募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています  
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

## 「蔵書点検作業が終了しました。」

1月29日（火）から2月7日（木）までの蔵書点検作業では、利用者の皆様には大変不自由をおかけいたしました。おかげさまで、滞りなく点検作業を終えることができました。

喜界町図書館では、今後とも町民の皆様が利用しやすい図書館、町民の皆様の要望にお応えする図書館をめざして、職員一同頑張りたいと思いますので、ご利用の程よろしくお願いいたします。



## 第160回 芥川賞・直木賞

芥川賞 「ニムロッド」 (著) 上田悠弘  
「1R1分34秒」(著) 町屋良平  
直木賞 「宝島」 (著) 真藤順文

## 「第17回MOE絵本屋さん大賞」決定

- 大賞 「おしっこちょっぴりもれたろう」 (著) ヨシタケシンスケ  
2位 「みえるとかみえないとか」 (著) ヨシタケシンスケ  
3位 「ノラネコぐんだんアイスのくにへ」 (著) 工藤ノリコ  
4位 「えがないえほん」 (著) B・J・ノヴァク  
5位 「けっこんしき」 (著) 鈴木のりたけ  
6位 「あめだま」 (著) ベク・ヒサ  
7位 「パンのずかん」 (著) 大森裕子  
8位 「どしゃぶり」 (著) 島一なり由子  
9位 「ごみじゃない！」 (著) minchi  
10位 「クマと森のピアノ」 (著) デイビッド・リッチフィールド

★ 10冊とも本館においてありますので、ぜひ手にとってみてください。

